

《単元の指導計画》 調理国際科 1 学年 生活産業基礎（家庭科）：「職業生活と自己実現」 6 時間

授業日時	時間	学習項目	学習内容	使用教材
11月1日（金） 1校時 8:50～9:40	1 時間	職業生活を続けるうえで大切な条件を考えてみよう	・退職金、雇用保険とは ・健康保険とは ・年金とは ・育児休業、介護休業とは ・その他職場ごとの待遇	・ワークシート ・プロジェクター
11月6日（水） 2校時 9:50～10:40	1 時間	「お金を使う」ということを考えてみよう	・生活していくのに必要なお金はどのくらいか ・職場の諸制度の活用と消費	・知ろう！学ぼう！お金の使い方 ・ワークシート
11月8日（金） 1校時 8:50～9:40	1 時間	生活設計①	・生活設計マネープランゲーム①	・生活設計・マネープランゲーム・ワークシート ・プロジェクター
11月13日（水） 2校時 9:50～10:40	1 時間	生活設計②	・生活設計マネープランゲーム② ・ゲームを終えての考察 ・問題はどのように回避できたのかを考える	・生活設計・マネープランゲーム ・プロジェクター
11月15日（金） 1校時 8:50～9:40	1 時間	講師派遣授業 ライフプランとお金	・ライフイベントとお金 ・自分のお店を持つには	・ローン&クレジットのABC
11月29日（金） 1校時 8:50～9:40	1 時間	生活設計③	・自分の生活をデザインしよう (特に金銭面から) ・これまで学習してきた総復習として、自分の生活をデザインする	・ワークシート

1時間目

11月1日（金）8:50～9:40（第1校時）

【授業の目的】

生活を設計するに当たり、どのような職に就くかは非常に重要なポイントとなる。将来の職を考える際、夢や憧れだけを追いかけて、実際になってみるとこうではなかったと後悔するような選択をしないようにするために知っておきたいことは多い。本時には、高校生には馴染みの薄い、雇用保険、健康保険、年金、育児休業等、働く前にぜひとも確認しておきたい社会の諸制度、職業生活の状況を理解させたい。

【評価】

出席、ワークシートの完成度

	授業内容	備考
導入 5分	<p>「希望の職に就いたとして、次のような場合どうしますか。」</p> <ul style="list-style-type: none">就業中に手を切って、全治1ヶ月の傷を負った。がんと宣告され、しばらく入院することになった。結婚し、子どもが生まれた。 <p>正社員であること、その職場に社会保険制度が整っているかが重要であることを示唆する。</p>	ワークシート配布
展開 40分	<p>各種社会保険制度や育児、介護休業等の説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none">雇用保険 育児休業給付、失業給付健康保険 国民年金保険、組合健保、協会健保育児、介護休業、病気休暇等 <p>育児休業はどれくらいとれるのか。給付金は？取得率は？</p> <ul style="list-style-type: none">年金 定年退職後の生活研修制度 フランスのレストランに研修制度で修業へ労働基準法 1ヶ月あたり45時間を超える残業は違反 1日8時間、1週間40時間以内	プロジェクト ワークシート記入
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none">このような諸制度がきちんと整っている職場に就職するためには下調べが必要。ケーキ屋さんに就職したい、ホテルに就職したいとある程度方向性が決まっている生徒は、希望の企業についてホームページ等でぜひ、調べてみてほしい。今日の授業内容が、自分の進路を決めるうえで手助けとなってほしい。次回授業の予告	

1時間目ワークシート

生活産業基礎

1□ 働く前に知っておきたいこと～職場の諸制度～

2□ こんなときどうしますか？

- ①会社で手を切って、全治1ヶ月の傷を負った
- ②がんと宣告されて、しばらく入院することになった
- ③結婚し、子どもが生まれるので、産休をとろうとした

3□ 労働法 → 労働者の保護のためにある

- ・労働基準法 　　・男女雇用機会均等法
- ・労働組合法 　　・最低賃金法 　　etc.

4□ 「各種保険完備」とは

- ・雇用保険 　　・健康保険
- ・労災保険 　　・厚生年金保険

5□ ☆雇用保険

- ・労働者が失業した場合に、生活の安定と就業の促進のための失業給付を行う保険制度
 - ・保険料は事業主と労働者の双方が負担
- ※失業給付

失業後 90～360 日間、働いていた時の給料の6～7割

6□ ☆労災保険

- ・労働者の業務が原因の怪我、病気、死亡、または通勤の途中の事故などの場合に、国が会社に代わって給付を行う公的な制度
- ・保険料は全額会社が負担

7□ ☆健康保険

- ・協会けんぽ・・・中小企業 　　・共済保険・・・公務員
- ・健康保険組合・・・大企業 　　・国民健康保険・・・それ以外 市町村が運営

※病院の窓口で払うのは治療費の3割

※保険料はそれぞれ異なる

8□ ☆年金保険

労働者が高齢となって働けなくなったり、何らかの病気や怪我によって身体に障害が残ってしまったり、大黒柱を亡くしてその遺族が困窮してしまうといった事態に際し、保険給付を行い、労働者とその遺族の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。

9□ 賃金についてのきまり

・最低賃金法

千葉県 777 円／時（平成 25 年 11 月 1 日現在）

※支払われ方

- | | |
|-----------|-------------------|
| ①通貨支払いの原則 | ③全額支払いの原則 |
| ②直接支払いの原則 | ④毎月 1 回以上の定期支払の原則 |

10□ 労働時間のきまり

- ・労働基準法では 労働時間 1 日 8 時間以内・1 週間 40 時間以内

※時間外労働 → 割増賃金

- ①時間外労働は 25% 増し
- ②休日労働は 35% 増し
- ③深夜労働は 25% 増し

11□ 休憩のきまり

- ・1 日 6 時間を超える場合には 45 分
- ・1 日 8 時間を超える場合には 60 分 の休憩が途中に必要

※毎週少なくとも 1 回、あるいは 4 週間を通じて 4 日以上の休日を与えなければいけない

12□ 休日のきまり

- ・年次有給休暇
- ・育児休業 1~3 年
- 育児休業給付金 満 1 歳まで 紹介料の 50%
- ・介護休業
- ・特別休業・・・義務ではない

ボランティア休暇・リフレッシュ休暇・慶弔休暇・病気休暇

2時間目

11月6日（水）9:50～10:40（第2校時）

【授業の目的】

将来働いて、もらった給料をどのように使うのか、「お金の使い方」について考えさせたい。どのようにお金を使い、どのような生活をしたいのか、理想の生活に対するイメージを膨らませたい。

【評価】

出席、ワークシートの完成度

	授業内容	備考
導入 5分	前回学んだことを復習する。雇用保険、労災保険、健康保険、年金など、労働者を保護してくれる制度について、また、育児休業、介護休業など、各種休暇について学んだことを確認。これらは給料から天引きされることを確認。	ワークシート配布
展開 40分	<p>① 手取り収入はいったいどれくらいになるのか 求人票から基本給を見る データ…高卒、大卒平均初任給 天引きされるもの、給料明細、フリーターとのちがい</p> <p>② 収入と支出のバランス 生活費はいくらぐらいか? 住居費、光熱費、食費にそれぞれかかるお金 どこにお金をかけるかは価値観しだい 教材「知ろう！学ぼう！お金の使い方」テーマ1</p>	プロジェクト 書画カメラ ワークシート記入 教材 「知ろう！学ぼう！お金の使い方」
まとめ 5分	・次回は経済生活を疑似体験。生活設計・マネープランゲームの実施を伝える。	

2時間目ワークシート

Let's try 収支の合った楽しい生活

毎日の消費生活や年間を見通した消費生活から、自分の実収入に見合った納得のいく支出を配分し、収支が合うように予算をたててみよう。



私は学生
今はまだ仕送りの身です。
一生懸命勉強してます。



私は社会人1年生
晴れて()
に就職しました。
がんばってます。



①⑪⑯⑰⑲ワーク4参照
⑤～⑬⑯⑰
左ページおよび下記資料参照



消費支出（生活費）等の参考資料

- ⑤食費 30,000円（外食も含む）
(1,000円×30日)
- ⑥住居費 家賃 管理費 駐車場代
- ⑦光熱水道費 10,000円
- ⑧家具家事用品費
消耗品（トイレットペーパー 洗剤）等
- ⑨被服履物費
洋服 靴 アクセサリー代 寝具
クリーニング代
- ⑩保健医療費
診療 薬代 コンタクト用品代
- ⑪交通通信費
電話代 郵便
車両係費（ガソリン代 洗車代等）
電車・バス・タクシー代
- ⑫教養娯楽費
趣味 新聞 書籍
受信料 映画 旅行代金
- ⑬その他
理美容費 シャンプー 化粧品
冠婚葬祭 交際費
- ⑯国民年金保険料
・平成24年度14,980円
(平成29年まで毎年加算)
- ・学生も20歳から支払うことになっているが、申請すれば支払いを猶予される。
- ⑰任意保険料
生命保険料（ 円）
損害保険料（ 円）

シミュレーション後の感想

今後の経済生活の展望

3 時間目

11月8日(金)8:50~9:40(第1校時)

【授業の目的】

就職し、自立してからの自分の生活における「金融」や「経済」を実感できるように、「生活設計・マネープランゲーム」を使って擬似体験する。身近な生活を金融・経済の関わりを意識させることで、将来どのように暮らしていきたいかのイメージをより具体化させたい。

【評価】

出席、ワークシートの完成度

3時間目ワークシート

出典：金融広報中央委員会発行「これであなたもひとり立ち」指導書

4時間目

11月13日（水）9:50～10:40（第2校時）

【授業の目的】

生活設計・マネープランゲームを通して、人生の疑似体験をすることにより、生活設計の必要性を理解し、また、将来起こり得る問題をより身近に感じ、将来を展望した自分の生活設計へつなげる。

【評価】

【関心・意欲・態度】どのようにしたら人生のリスクを回避できるか、考えることができる。

【思考・判断】ライフイベントと働き方の関わりを考え、自分のとてよりよい働き方を考えることができる。

【技能・表現】疑似体験を通して、自分が思ったこと、感じたことを表現することができる。

【知識・理解】ライフイベントに対応するために今から準備すべきことを理解する。

	授業内容	備考
導入 5分	将来の生活の擬似体験として、「生活設計・マネープランゲーム」を行うことを説明する。ゲームとして楽しむ、勝ち負けや貯蓄額だけにこだわるものではなく、擬似体験することで、自分が実際にどう生きていきたいかを考えるきっかけとなってほしいことを強調する。前回20歳代までのゲームが終わっているので、今回はその続きをから行い、その後考察をしていくことを説明。	プロジェクト
展開 30分	ゲームのやり方を説明する。 4人班を確認する。係を確認する。 30歳代から、ゲーム進行スライドで1つ1つ確認しながら進める。 定年退職まで順に進めていく。	教材 「生活設計・マネープランゲーム」 マネープランシート 記入
発表 10分	15分前に声をかけ、マネープランシートにまとめられているか確認する。 ・見て回り、発表できそうな結果を残している班を見つける。 ・4つの班に、収入カード、基本生活支出カード、家族構成、累計貯蓄額、思い出ポイントをそれぞれ発表させ、書画カメラを使って生徒全体に共有する。 ・それぞれの班に結果を発表させる。	書画カメラ
まとめ 5分	各自で感じたことをマネープランシートに記入、提出。 この授業をきっかけにして、お金と自分のこれから的生活についてたくさん考えて、いって欲しい旨を伝える。	

5時間目

11月29日（金）8:50～9:40（第1校時）

【授業の目的】

これまでの授業内容をふまえ、自分自身のこれからの生活をデザインする。

特に金銭面から考え、ライフプランを練る。

【評価】

出席、ワークシートの完成度

	授業内容	備考
導入 5分	これまで学んできた内容を総復習する。 金銭的に関係する保険や育児休業などについて特に確認する。	プロジェクト ワークシート配布
展開 40分	ワークシートを配布する。 ・ライフイベントを1つ1つ確認しながら、一緒に進めていく。 ・18歳、就職が進学か→親元から独立→結婚→退職→第1子誕生・育児休業→住宅購入→マイカー購入→第2子誕生・育児休業→転職、開業、昇進、留学など→仕事復帰→子育ての日々→子どもの独立→親の介護・介護休業→配偶者の死亡→自分が死亡の順に進める。 ・最後に各自でまとめる。	ワークシート記入
まとめ 5分	・今はまだ、先のことは想像できにくいかもしれないが、計画を立てること、目標を設定することの大切さを伝える。→ノープランでは、何も生まれない。 ・ワークシートの回収	

5時間目ワークシート

1日()番 氏名

私のライフデザイン

自分の年齢	学年・仕事	家庭生活			その他
		出来事	子ども① 年齢	子ども② 年齢	
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					

夢・目標の実現のために、今できること